

平成 17 年度事業計画書

当法人成立日～平成 18 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人日本家庭医療学会

1 事業実施の方針

本学会は、家庭医の専門性を確立し、会員に家庭医療に必要とされる教育研修を提供し、さらに家庭医療の発展に資する研究の促進のための活動を行って、もって地域で生活する人々、その家族、さらには地域のニーズにこたえる家庭医を普及させることを目的とする。この目的を達成するために、下記の活動を行うこととする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込額 (千円)
会誌発行	家庭医療の教育、研究のため、また家庭医療の専門性の確立のため、また、会員との連絡調整のため、会誌の編集、印刷、郵送、およびホームページへの掲載などを実施	平成 18 年 1 月ごろ	編集は広報委員の職場、印刷、郵送、ホームページへの掲載はあゆみコーポレーション		会員、全国の大学医学部	
会報発行	家庭医療の教育、研究のため、また家庭医療の専門性の確立のため、また、会員との連絡調整のため、会誌の編集、印刷、郵送、およびホームページへの掲載など	平成 17 年 12 月ごろ、平成 18 年 3 月ごろ			会員	
家庭医の生涯教育のためのワークショップ	家庭医の生涯教育に必要な講演会、ワークショップ等の企画、運営、開催	平成 17 年 11 月上旬	未定		会員および非学会員	
若手家庭	若手家庭医のために必要な講	平成 18	未定		会員および非	

医部会セミナー	演、シンポジウム、ワークショップ等の開催と、人的交流の場を提供	年2月を予定			学会員（若手家庭医部会が中心）	
海外家庭医療関連団体との交流事業	会員と海外の家庭医療関連団体との交流の場としてセミナーなどを開催。家庭医療の専門性の確立、教育研修、そして研究に資する。	平成17年10月ごろを予定	未定		会員および非学会員	
プライマリ・ケア教育連絡協議会への参加	主に家庭医療・プライマリ・ケアの後期研修の確立ために、プライマリ・ケアに関連する5学会、団体が集まり、その基本的プログラムを作成し、各学会、団体の方針を調整する。	おおよそ2-3ヶ月に1回	未定			
後期家庭医療研修調査事業	現在全国各地で行われている家庭医療後期研修を調査・分析し、今後の家庭医療プログラム認定作成の際の一つの資料をする。	法人成立から平成17年12月ごろまで	後期家庭医療研修調査ワーキンググループ委員の職場、およびあゆみコーポレーション		家庭医療研修施設	
家庭医療プログラム・専門医認定検討委員会	良質、かつ実現可能な家庭医療プログラムのガイドラインを会員の意見を取り入れながら作成し、将来の家庭医関連の専門医の基礎をする。	3-4ヶ月に1回	未定			
関連学会との専門医認証機構への参加検討	主に家庭医療の専門医制度の確立ために、家庭医療に関連する学会、団体と協調しその基本的プログラムを作成する。その後各学会、団体の方針を調整し専門医認証機構への参加を検討する。	3-4ヶ月に1回	未定			
研究倫理審査	会員による家庭医療にかかわる研究計画の倫理審査を行う	おおむね3ヶ月	未定		家庭医療にかかわる研究を	

	う。	月に 1 回			行おうとする 会員	
--	----	-----------	--	--	--------------	--

平成 18 年度事業計画書

平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人日本家庭医療学会

1 事業実施の方針

本学会は、家庭医の専門性を確立し、会員に家庭医療に必要とされる教育研修を提供し、さらに家庭医療の発展に資する研究の促進のための活動を行って、もって地域で生活する人々、その家族、さらには地域のニーズにこたえる家庭医を普及させることを目的とする。この目的を達成するために、下記の活動を行うこととする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込額 (千円)
会誌発行	家庭医療の教育、研究のため、また家庭医療の専門性の確立のため、また、会員との連絡調整のため、会誌の編集、印刷、郵送、およびホームページへの掲載などを実施	平成 18 年 7 月ごろ、平成 19 年 1 月ごろ	編集は広報委員の職場、印刷、郵送、ホームページへの掲載はあゆみコーポレーション		会員、全国の大学医学部	
会報発行	家庭医療の教育、研究のため、また家庭医療の専門性の確立のため、また、会員との連絡調整のため、会誌の編集、印刷、郵送、およびホームページへの掲載など	平成 18 年 8 月ごろ 10 月ごろ、平成 19 年 1 月ごろ、3 月ごろ			会員	
学術集会・総会	家庭医療の研修・教育や研究のためのシンポジウム、ワークショップ、ポスタープレゼンテーションの実施、総会の	平成 18 年 5 月 13 日—平成 18	名古屋国際会議場		会員および非会員	

	企画、運営、開催 (日本プライマリ・ケア学会、 日本総合診療医学会との共同 開催)	年 5 月 14 日				
学生・研修 医のた め の 家 庭 医 療 学 夏 期 セ ミ ナ ー	家庭医療に興味を持つ学生・ 研修医のための講演会、ワー クショップの企画、運営、開 催と、人的交流の場を提供	平成 18 年 8 月 の 3 日 間	未定		会員および非 学会員(主と して学生・研 修医)	
家庭医の 生涯教育 のための ワークシ ョップ	家庭医の生涯教育に必要な講 演会、ワークショップ等の企 画、運営、開催	平成 18 年 11 月 ごろ	未定		会員および非 学会員	
若手家庭 医部会セ ミナー	若手家庭医のために必要な講 演、シンポジウム、ワークシ ョップ等の開催と、人的交流 の場を提供	平成 19 年 2 月 ごろを 予定	未定		会員および非 学会員(若手 家庭医部会が 中心)	
海外家庭 医療関連 団体との 交流事業	会員と海外の家庭医療関連団 体との交流の場としてセミナ ーなどを開催。家庭医療の専 門性の確立、教育研修、そし て研究に資する。	2 回ほ ど予定	未定		会員および非 学会員	
家庭医療 プログラム・専門医 認定検討 委員会	良質、かつ実現可能な家庭医 療プログラムのガイドライン を会員の意見を取り入れなが ら作成し、将来の家庭医関連 の専門医の基礎をする。	3 - 4 ケ 月に 1 回	未定			
家庭医療 後期研修 プログラム 認定制 度の設立	家庭医療の後期研修プログラ ム認定制度を設立する。これ によって、3 学会による専門 医制度の充実を図る。	平成 18 年 9 月 ごろを 予定	未定			
関連学会 との専門 医認証機 構への参 加検討	主に家庭医療の専門医制度の 確立ために、家庭医療に関連 する学会、団体と協調しその 基本的プログラムを作成す る。その後各学会、団体の方 針を調整し専門医認証機構へ の参加を検討する。	3 - 4 ケ 月に 1 回	未定			
プライマ リ・ケア教 育連絡協	主に家庭医療・プライマリ・ ケアの後期研修の確立ため に、プライマリ・ケアに関連す	おおよ そ 2 - 3 ヶ月に	未定			

議会への参加	る5学会、団体が集まり、その基本的プログラムを作成し、各学会、団体の方針を調整する。	1回				
課題研究助成	日本の家庭医療の発展に寄与すると思われる家庭医療関連の研究に対して助成金を提供する。会員による3研究を選択の予定。	平成18年5月の学術集会・総会のとき	特になし			
研究賞	家庭医療に関する若手会員によるすぐれた研究に対して、これを賞し、もって家庭医療にかかわる研究を促す。	平成18年5月の学術集会・総会のとき	特になし			
研究倫理審査	会員による家庭医療にかかわる研究計画の倫理審査を行う。	おおむね3ヶ月に1回	未定		家庭医療にかかわる研究を行おうとする会員	